

令和元年11月

## 市長定例記者会見次第

1. 日 時：令和元年11月15日（金） 14：00～ （約45分）
2. 場 所：405会議室
3. 出席者：市長、関係局長ほか
4. 案 件
  - （1）中央消防署小立野出張所の竣工について（資料番号1）
  - （2）金石消防署三和出張所に救急隊を増隊（資料番号2）
  - （3）『瑞樹団地 宅地分譲地の販売状況』について（資料番号3）
  - （4）平常時における避難行動要支援者名簿の作成について（資料番号4）
  - （5）ロシア連邦飛込連盟との事前合宿の実施に関する協定締結について（資料番号5）

## 市長定例記者会見資料

## 中央消防署小立野出張所の竣工について

昨年10月に着工し、整備を進めてきた中央消防署小立野出張所について、竣工する運びとなりました。

## 1 運用開始・竣工式

[運用開始] 令和元年 11 月 26 日 (火) 17 時 00 分から

[竣工式] 令和元年 11 月 30 日 (土) 10 時 30 分から 11 時 00 分

## 2 施設の概要

- (1) 所在地 金沢市小立野1丁目2番14号
- (2) 敷地面積 1,195 m<sup>2</sup>
- (3) 建物構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建て
- (4) 延床面積 935.64 m<sup>2</sup>
- (5) 配置車両 消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台
- (6) 建設事業費(概算) 4億8千万円

## 3 施設の特徴

[外観] 伝統環境保存区域において、街並みと調和した落ち着いた外観

[機能] ①消防庁舎としての基本機能を強靱化

- ・より長時間使用可能な非常用発電機を2階に設置
- ・感染症の2次感染抑止に有効な感染防止対策室を設置
- ・大規模な災害等に備え、消防活動資機材を保管する倉庫を併設

②地域コミュニティ・地域防災力の向上

- ・地域の方々が利用しやすい設計とした、地域開放型研修室を併設

〔周辺図〕



〔建物外観〕



## 市長定例記者会見資料

## 金石消防署三和出張所に救急隊を増隊

市内における救急出動件数が高齢化社会の進展等により増加していることから、新たに救急隊を9隊から10隊に増隊し、救急体制の強化と更なる救命率の向上を目指すものです。

## 1 配置場所

金沢市矢木3丁目105番地1 金沢市金石消防署 三和出張所

## 2 運用開始予定日

令和元年12月15日(日)

## 3 配置救急車の概要

## (1) 救急車両

救急患者に走行時の振動を与えないよう、防振ストレッチャーなどを装備した最新型の高規格救急車

## (2) 高度救命処置

救急救命士が気管挿管や薬剤投与などの高度な処置を行うために必要な資機材を搭載

- ・自動体外式除細動器
- ・輸液用資機材(輸液セット、留置針など)
- ・気道確保用資機材(気管挿管チューブ、吸引器など)

## 4 増隊による効果

- (1) 現場到着時間の短縮により、救急救命処置等を早期に開始することができ、救命率の向上が期待できます。
- (2) 救急出動輻輳時の対応が強化できます。
- (3) 多数傷病者発生時の対応が強化できます。



## 市長定例記者会見資料

## 『瑞樹団地 宅地分譲地の販売状況』について

瑞樹団地は、本市が平成7年から分譲を開始し、これまで美しい景観のまちなみを創出しながら販売の促進に取り組んできたところ、令和元年10月末日現在で販売区画数の残りが49区画となりました。

## 1. 団地の概要

- 1) 事業期間 1993（平成5）年度～2011（平成23）年度（土地区画整理事業）
- 2) 施工区域 木越町、大場町、千木町、福久町 約40.3 ha
- 3) 規 模 宅地895区画、人口約3,000人  
平均区画面積 約230㎡（70坪）
- 4) 分譲完了予定 令和5年度

## 2. 団地の特色

- 1) 最新技術を導入した地盤改良を実施
- 2) 団地内全区域の無電柱化とケーブルテレビの導入
- 3) 金沢らしい黒瓦の家並みと生け垣による統一感のあるまちなみ
- 4) 「水」と「緑」が豊かな親水緑地と2つの公園

## 3. 販売実績（過去5カ年）

年 度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
区画数	8	8	11	14	12

## 4. その他

引き続き、住宅展を開催するなど、残る区画の販売促進に努めていきます。



瑞樹西公園にて

## 市長定例記者会見資料

## 平常時における避難行動要支援者名簿の作成について

地域での避難支援体制等の充実に向け、「金沢市避難行動要支援者名簿に関する条例」に基づき、避難行動要支援者に対して、平常時から避難支援等関係者に名簿情報を提供することの同意確認等に関する調査を行い、今般、新たな名簿を作成しました。

## 1. 避難行動要支援者名簿登録対象者数（病院や施設に入院している方を除く）

34,263人（a）

## ※ 避難行動要支援者

- ・ 75歳以上の一人暮らしの方
- ・ 75歳以上の高齢者のみの世帯の方
- ・ 介護保険における要介護認定3以上を受けている方
- ・ 身体障害者手帳の上肢、体幹、視覚、聴覚の障害が1・2級の方
- ・ 身体障害者手帳の下肢の障害が1～3級の方
- ・ 療育手帳Aを所持する方
- ・ 特に支援を要すると自ら申し出て市長の認定を受けた方

## 2. 平常時から名簿情報を提供する要支援者数

28,020人（b） ※ 提供率（ $b \div a$ ）＝81.78%

（内訳）

同意した方	23,418人
不同意の意思を示さなかった方	4,602人

## 3. 名簿情報の提供

提供先となる民生委員や地域の自主防災組織などの避難支援等関係者と個人情報の適正管理のための協定締結後、年内に提供

## 4. その他

RPAの導入により、名簿作成に係る作業時間が大幅に短縮

## ※ 同意確認書送付から名簿完成までの期間

前回（H27）：約1年 → 今回：約5ヶ月

# 避難行動要支援者名簿の作成について

本市では、災害時の円滑かつ迅速な避難支援等につなげるため、平成31年3月に「金沢市避難行動要支援者名簿に関する条例」を制定しました。条例の規定に基づき、高齢者や障害のある方などのうち、災害時に支援が必要と思われる人について、「避難行動要支援者名簿」を作成します。

## 市民一人ひとりの行動

### 自助

身の回りの安全を確保して、最低限の水、食料、生活用品を準備するなどの自主行動です。

この3つの行動が、災害に対するもっとも重要な基盤です

## 自主防災会など 地域団体の行動

### 共助

災害の発生に備え、集団避難の要領、連絡体制など助け合える基盤づくりです。  
(ご近所との日常的な交流を心がけてください)

### 公助

## 金沢市をはじめ、 国や県、消防、警察、 自衛隊など

人命救助、消火、医療などから、まちの復興・再建までの公的機関としての役割を果たすことです。

避難行動要支援者名簿は、

**「共助 = 地域ぐるみの助け合い」** のためのものです。

○避難時の誘導や補助などの支援を希望する人が、登録された情報を平常時から地域の避難支援等関係者へ提供することについて同意することで、日頃からの見守りや災害時の安否確認、避難誘導などに役立っています。

○名簿登載の対象となる方には、6月中旬に同意確認書をご自宅へ郵送いたしますので、必要事項をご記入いただき、ご返送ください。

※同意確認書の提出がない場合は、条例の規定により、名簿情報の提供に同意されたものとして地域の避難支援等関係者に提供します。

(裏面もご覧ください)

## 避難行動要支援者とは

### 高齢者

- ・ 75歳以上の一人暮らしの方
- ・ 75歳以上の高齢者のみの世帯の方

### 要介護認定者

- ・ 介護保険における要介護認定3以上を受けている方

### 障害のある方

- ・ 身体障害者手帳の上肢、体幹、視覚、聴覚の障害が1・2級の方
- ・ 身体障害者手帳の下肢の障害が1～3級の方
- ・ 療育手帳Aを所持する方

### その他

- ・ 上記のほか、避難支援が必要な方（市へ申請が必要ですので、名簿登載をご希望の方は、下記担当課までお問い合わせください）

## 避難支援等関係者とは

民生委員、地区社会福祉協議会、自主防災組織、消防分団を言います。

## 避難行動要支援者名簿のイメージ

小学校区	住所	氏名	町会名	性別	生年月日	電話番号	FAX番号	避難支援等必要な理由				備考
								高齢者	介護	障害	その他	
	金沢市広坂1-1-1	長寿 一郎	広坂会	男	55.11	220-2288	260-7192	※	※			
	金沢市広坂2-1-1 広坂マンション101号	広坂 花子	坂友会	女	S20.11.15	220-2289			※			

- ・ 災害発生時には、災害対策基本法の規定により、本人の同意の有無にかかわらず、避難支援等関係者へ名簿を提供することになります。
- ・ 情報提供に同意することで、災害発生時などに避難支援を受けられる可能性が高まりますが、災害の状況によっては、迅速・必要な支援を受けられない場合もありますことをご了承ください。

## 問い合わせ先

### 障害のある方

金沢市福祉局障害福祉課

電話番号 (076) 220-2289

FAX (076) 232-0294

### 障害のある方以外

金沢市福祉局地域長寿課

電話番号 (076) 220-2288

FAX (076) 260-7192

## 市長定例記者会見資料

## ロシア連邦飛込連盟との事前合宿の実施に関する協定締結について

ロシア連邦飛込連盟と金沢市は、2020年の東京オリンピック競技大会における事前合宿の実施に関する協定を締結します。

1. 日時 令和元年11月15日（金） 14時45分～15時15分
2. 場所 金沢市役所2階「紅梅」
3. 出席者 ロシア連邦飛込連盟：  
スベトラーナ・モイセワ ヘッドコーチ  
（アレクセイ・ヴラセンコ会長の代理人）  
エドワルド・フェオクチストワ ジェネラルマネージャー  
セルゲーフ・ミハイル 在新潟ロシア連邦総領事  
金沢市：  
山野之義 金沢市長  
松村理治 金沢市議会議長  
山下浩雅 石川県水泳協会理事長
4. 次第
  - (1) 挨拶 山野之義 金沢市長
  - (2) 挨拶 スベトラーナ・モイセワ ヘッドコーチ
  - (3) 挨拶 セルゲーフ・ミハイル 在新潟ロシア連邦総領事
  - (4) 挨拶 松村理治 金沢市議会議長
  - (5) 協定署名 ヴラセンコ会長が事前に署名した協定書に山野市長が署名

---

**(参考1) ロシア連邦飛込連盟の合宿実績**

- ・2019年2月 「FINA ダイビングワールドシリーズ2019相模原大会」(3/1-3)の代表選手が事前合宿（選手5名、コーチ4名）

**(参考2) これまでに協定を締結した競技団体**

- ・2017年6月 フランス水泳連盟と、東京オリンピック競技大会における事前合宿の実施に関する協定を締結
- ・2018年5月 フランスウエイトリフティング連盟と、東京オリンピック競技大会における事前合宿の実施に関する協定を締結